

## みんなに学校のすてきなところを紹介しよう!

---

学年	小学校 4 年生
教科 (授業内容)	国語 (みんなに学校のすてきなところを紹介しよう!)
使用教材	プログラミングゼミ
コスト・環境	タブレット ※ iOS または Windows または Android インターネット接続不要

## 学習活動の概要

---

### ● 単元の目標

- 学校外部の人(来校者や地域の方)や学校内部の人(1年生から6年生や先生)に、学校の素敵なおところを伝えたいという思いを高め、分かりやすく伝えようとする。
- 相手や目的に応じて書こうとする中心を明確にしなが相手に応じて説明する文章を書いた上で、文章の間違いを正したり、よりよい表現に書き直したりすることができる。

### ● 単元の内容

本単元は、目的に応じた資料を効果的に使い、学校について説明する文章を書く言語活動である。相手は外部の人(来校者や地域の方)と学校内部の人(1年生から6年生と先生)を想定しており、自分達が大好きな学校らしい場所や例規を説明することを目的としている。

身につけたい力の一つ目は、学校内部と外部の人という相手と、学校の素敵なおところを伝えたいという目的を関係づけて、相手に応じて表現や内容を変えて書く力である。二つ目は伝えたい内容と関係づけて写真や絵、キャラクターといった資料を選択し、効果的に活用する力である。これらの力を育成するために、読んでくれた相手から感想をもらったり、資料が効果的に使えているかなどの始点を明確にして交流したりする場面を意図的に位置付けていく。

### ● 教科の学習とプログラミング教育の関連

本単元では、児童の思いや身につけたい力の育成に沿って、プログラミングを活用し、タブレット端末で「動く学校便り」を作成することを目指している。タブレット端末上にコマンドを表示することにより、読み手が内容(歴史や場所)や、立場(学校外部・学校内部)に合わせた文章を選択することが可能になるため、相手に応じて書いたよさを活かすことができる。また、プログラミングを活用することで文章にあわせてキャラクターを動かしたり、資料を出したりすることができる。そのため、効果的に資料やキャラクターを活用して書くことができる。このように、プログラムを活用してタブレット端末で発信していくことは、児童の思いや、本単元で取りあげる書く力を育てることにつながると考える。

# 学習指導計画

総時数 13 時間

時	○主な学習活動	・指導・支援 ★評価
1	<p>○これまでの、相手と関係づけて書き方や表現方法を工夫して書く経験と照らしあわせ、「みんなに学校のすてきなところを紹介しよう～プログラミングで『動く学校便り』を作ろう～」という学習課題を設定する。</p> <p>○相手に応じて書く力を身につけ、「みんなに学校のすてきなところを紹介しよう～プログラミングで『動く学校便り』を作ろう～」という学習課題をもとに学習計画をたてる。</p> <p>○学習計画をもとに、相手に応じて書き方を変えたり資料を効果的に活用したりする力を身につけることを共有する。</p>	<p>・学校便りを書いた経験を振り返り、すでに知っていること、新たにできるようにしたいことを話しあい、自分達で学習課題を設定し、学習計画をたてられるようにする。</p> <p>★学校の素敵なおところを読み手に分かりやすく伝えるために、図表、絵、写真など視覚に訴える資料を活用しようとして学校便りを書こうとしている。</p>
2 3 4 5	<p>○学校の歴史や場所の中から伝えたい内容を一つずつ決め、取材の計画を立てる</p> <p>○自分が伝えたいことと取材する相手の立場を関係づけることで、相手に応じた取材方法や取材内容を決める。</p> <p>○相手や目的に合った方法で取材し、必要な情報を収集する。</p>	<p>※調べることや取材対象に応じて取材方法を決めたり、取材内容がまとめられたりするワークシートを用意する。</p> <p>・自分が書きたいことについて詳しい教職員や地域の方、同じ学年の友達に取材する時間を確保する。</p> <p>★調べたいことに応じて、どのように取材するかを決め、取材対象や目的に応じて適切な取材方法を選択し、取材している。</p>
6 7 8	<p>○学校内部の人(先生や同じ学年の友達)に知りたい内容を聞き、その内容と自分が伝えたいことを関係づけて、取材したことから書く内容を具体的に決める。</p> <p>○ワークシートを活用して、場所や歴史を説明している文章を分析し、説明するための様式を捉える。</p> <p>○ワークシートを活用して、相手に合わせて書く内容や表現が変わる二つの文章を比較し、学校内部と学校外部という相手による書き方の違いを捉</p>	<p>※歴史を説明した文章と場所を説明した文章の全体を捉えられるワークシートを用意して、様式の違いを捉える。</p> <p>※相手に応じて内容や表現が変わることを捉えるためのワークシートを用意する。</p> <p>★伝えたい内容によって、書き方や表現の仕方を変えながら、文章に合った写真や図表を用いて、文章と資料とを関係づけて学校について説明する文章を書いている。</p>

	<p>える。</p> <p>○学校内部の人が知りたいこと、自分が伝えたいことを照らしあわせながら、表現、使う資料を決め、400～500字で文章を書く。</p> <p>○伝えたいことと文章と資料が関係づけられているか判断し、文章を書きなおす。</p>	<p>★物の名前、動き、様子を表す語句など「性質」の上での語句の類別や、文の主語、述語、修飾する語句などの「役割」の上での語句の類別を理解している。</p>
<p>9 10 11 12</p>	<p>○友達の文章を読み、伝えたいことと関係づけながら文章につける見出しによい言葉話しあい、個々の見出しを15文字以内で決める。</p> <p>○学校内部の人に書いた文章を読んだ感想をもらい、その感想を整理して外部の人向けの文章を書く視点を明確にする。</p> <p>○整理した感想と関係づけて、説明する文章を簡単にしたり詳しくしたりしながら400～500字で文章を書く。</p> <p>○書きたいことと中心を明確にして書かれているか、相手に合わせた表現で書かれているかをグループで話しあって判断する。</p> <p>○グループごとに書いた文章を読みあい、概要や伝えたいことにつながる事例が詳しくなっているか、写真や図などの資料を効果的に使えているかなどを振り返る。</p>	<p>・自分が気をつけたことやアドバイスがほしいことをワークシートに書いて明確にしておき、読んでくれる人に伝えられるようにしておく。</p> <p>★学校内部の人からもらった感想をもとに、伝えたいことが明確か、伝えたいこと、文章、資料が関係づけられているかという視点で推敲し、文章を書きなおしている。</p> <p>・個々の課題を把握し、必要感をもって推敲できるようにグループを組む。</p> <p>・タブレットを使って交流し、その場で訂正したり確認したりしながら学校について説明する文章を仕上げられるようにする。</p> <p>・総合的な学習の時間で資料を文章に合わせて動かせるようにプログラミングする。</p> <p>★学校外部の人から感想をもらい、感想を整理することで推敲の視点を明確にして文章を書き直している。</p>
<p>13</p>	<p>○学校便りを読んだ相手から感想をもらい、相手に応じた書き方になっているか、資料を効果的に活用できたかという視点で振り返る。</p> <p>○相手に応じて書き方を変えて書く力を活用できる場面を考えて、他の学習に活かせるようにする。</p>	<p>・学校内部の人や外部の人のアンケートを総合的な学習の時間で集計し、見直しの視点として活用できるように掲示しておく。</p> <p>★感想をもとに、書くことのよさを実感し、今後の日常生活や他教科領域等に活用しようとしている。</p>

## 本時の学習（ 9 / 13 時間）

### (1) 本時のねらい

- 伝えたいことと文章の内容、写真などの資料を関係づけながら友達の文章を読んで「伝えたいことがはっきりわかる見出し」に入れるとよい言葉のアイデアを話しあい、そのアイデアをもとに 15 文字以内で見出しを書くことができる。

### (2) 新学習指導要領上の位置付け

- 国語 [第 4 学年]
  - [思考力、判断力、表現力等] B 書くこと

### (3) 本時の展開

○主な学習活動	・指導・支援 ※資料 ★評価
○全体司会者が本時の学習課題と学習の流れを確認する。	・前時までにとまとめた書く時に必要な力を振り返り、伝えたいことがはっきり伝わる見出しを決めるという本時の学習課題を確認する。
<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>友達の文章の「伝えたいことが分かる見出し」に入れるとよい言葉のアイデアをグループで話しあい、見出しの付け方のポイントを見つけよう</p> </div>	
○全体司会者が、伝えたいこと、写真などの資料、文章を関係づけて 15 文字の見出しをつけるという本時の学習を確認する。	・全ての児童が自分の考えをもって参加できるように教師が児童のワークシートを確認し、コメントを書いておく。
○教師が前時までにと学習した伝えたいことと関係づけながら考える本時であることを確認する。	・本時で何を話しあうかを確認し、協働的に課題を解決できるようにする。
<p>○友達の文章の伝えたいことが伝わる部分を伝えあう。</p> <p>○伝えたいこと、写真などの資料、文章の内容を関係づけながら、15 文字の「伝えたいことがはっきりわかる見出し」に入れるとよい言葉のアイデアを伝えあう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「伝えたいことをはっきりと伝えるための見出しにするために、入れるとよい言葉のアイデアを付箋に書いて出しあう。</li> <li>・一人ずつ大きくしたワークシートに整理し、それを参考に見出しをつくれるようにする。</li> </ul> <p>○15 文字で「伝えたいことがはっきりと伝わる見出し」を書く。</p>	<p>・個々の文章で「伝えたいこと」(要約)を 30 文字程度でまとめておき、話し合いのときに伝えられるようにする。</p> <p>・事前に、友達の伝えたいことと関係づけながら文章の内容を読んでおき、伝えたいことが伝わり考えられる文章にマーカーを引いておく。</p> <p>・話し合いがスムーズに行なえるように拡大したワークシートを用意し、意見をまとめられるようにする。</p> <p>・見出しに入れるとよい言葉のアイデアを付箋に書き、理由を伝えながら話しあうようにする。</p> <p>・もらったアイデアを参考にしながら個々が 15 文字で見出しを書く。</p>

	★伝えたいこと、文章、資料を関係づけて文章全体の見出しを書いている。
○見出しを書くためには伝えたいこと、文章、資料を関係づけて考える必要があることをまとめる。	・伝えたいこと、文章、資料を関係づけながら見出しを書くことを確認する。